



今後の防災と減災対策は

高橋 光孝

問 小川地区などすぐに氾濫危険が予想される河川の改修や冠水が予想される道路のかさ上げ、大規模な土砂災害が起こりそうな場所の砂防堰堤などを行う予定はあるのか。

建設部長 河川の改修については長期計画に基づいて実施しています。国においては阿武隈川の堤防強化として堤防天端幅の拡幅工事を行っています。また、宮城県では五間堀川の志賀沢川合流点から南貞山運河までの河道の改修と赤井江排水機場の整備を実施しています。さらに志賀沢川のJR東北本線から五間堀川合流点までを整備する計画となっています。

道路のかさ上げについては、隣接する既存宅地との関係から、単にかさ上げして解決できるものではないので、現時点では浸水対策事業として側溝整備を計画的に行っています。

また、土砂災害が想定される場所などの砂防事業については、宮城県が全体計画を定め、砂防ダムなどの対策工事を行っています。

現状を踏まえて、必要な箇所については、さらに宮城県に要望していきたいと考えます。

長期的に早めの安全対策

問 志賀沢川の河川改修は、具体的にどのように行っていくのか。

土木課長 まず河道の幅を広げます。次に堤防の幅を広げたり、堤防の高さもある程度かさ上げすることを考えています。

問 今回土砂災害危険箇所が13カ所新たに指定されたが、今後三色吉や北長谷など西部地区全体で指定する地域はどのくらい増えるのか。

土木課長 西部地区全体の危険箇所です。土石流や（ハザードマップに）色付けされている部分は、宮城県が土砂災害危険区域に指定する調査を行う予定です。

◎その他の質問

- ・震災復興
- ・インバウンド・観光対策



地方創生の推進

布田 恵美

問 市政報告に「亀塚第一住宅跡地に子育て・障害者・高齢者支援を組み合わせた複合型福祉施設に温泉やカフェなどの交流機能を加えた拠点整備について提案を受けている」とあったが、地域住民の声をどのように反映しているのか。

総務部参事 これまでと同様に（亀塚第一住宅跡地を具体化していく際には）地域住民の方々の話を聞いて対応していきます。

問 若者世代定住促進のためにも保育施設の充実が必要なことである。子育て支援を検討する場合、古く手狭になっている亀塚保育所及び相の原保育所再編も含まれているのか。

市長（相の原・亀塚保育所）設立当初とは（団地の）状況も変わっています。ご意見をいただきながら、（亀塚保育所は）駅に近いという立地を有効に活用したいと考えています。

問 公設小売市場跡地は、地方創生活関連交付金等を活用して市民活動拠点整備を検討するところだが、施設規模や内容はどのような想定

なのか。

総務部参事 敷地面積1100平方メートル、施設規模は延べ床面積約700平方メートルを想定しています。

問 駅に近い中心地という立地を生かして、中高生や青少年の活動拠点として利用することも視野に入れて考えてはどうか。

総務部参事 若い世代から高齢世代の多世代交流の拠点として考えます。

駅前民有地はどう活用か

問 駅前民有地の活用はどのように考えているのか。

市長（今回地権者の方から地域貢献のために土地活用の提案があり、亀塚第一住宅跡地、公設小売市場跡地の活用も含めて検討していく）新しい岩沼の顔、岩沼のコミュニティをしつかりつくるという目的のために、民間と行政が協力して進める考えです。まず、職員プロジェクトを立ち上げ、議論したいと考えています。

- ◎その他の一般質問
- ・公共施設の維持管理